

技術士に求められる資質能力（修正案）

技術の高度化、統合化等に伴い、技術者に求められる資質能力はますます高度化、多様化している。

これらの者が業務を履行するために、技術ごとの専門的な業務の性格・内容、業務上の立場は様々であるものの、（遅くとも）35歳程度の技術者が、技術士資格の取得を通じて、実務経験に基づく専門的学識及び高等の専門的応用能力を有し、かつ、豊かな創造性を持って複合的な問題を発見して解決できる技術者（技術士）として活躍することが期待される。

このたび、技術士に求められる資質能力（コンピテンシー）について、国際エンジニアリング連合（IEA）の「専門職としての知識・能力」（プロフェッショナル・コンピテンシー、PC）を参考にしながら、以下の通り、キーワードを挙げて示す。これらは、別の表現で言えば、技術士であれば最低限備えるべき資質能力である。

技術士はこれらの資質能力をもとに、今後、業務履行上必要な知見を深め、知識及び技術を修得し技能の水準を向上させ資質向上を図るよう、十分な継続研さん（CPD）を行うことが求められる。

専門的学識

- ・技術士が専門とする技術分野（技術部門）の業務に必要な、技術部門全般にわたる専門知識及び選択科目に関する専門知識を理解し応用すできること。
- ・技術士の業務に必要な、我が国固有の法令等の制度及び社会・自然条件等に関する専門知識を理解し応用すできること。

問題解決

- ・業務遂行上直面する複合的な問題に対して、これらの内容を明確にし、調査し、これらの背景に潜在する問題発生要因や制約要因を抽出し分析すできること。
- ・複合的な問題に関して、相反する要求事項（必要性、機能性、技術的実現性、安全性、経済性等）、それらによって及ぼされる影響の重要度を考慮した上で、複数の選択肢を提起した上で、これらを踏まえた解決策を合理的に提案し、又は改善すできること。

マネジメント

- ・業務の計画・実行・検証・是正（変更）等の過程において、品質、コスト、工期

(納期) 及び生産性とリスク対応に関する要求事項、これらの過程を経て得られる成果物（製品、システム、施設、プロジェクト、サービス等）に係る要求事項の特性（必要性、機能性、技術的実現性、安全性、経済性等）を満たすことを目的として、人員・設備・金銭・情報等の資源を配分すできること。

判断

~~・業務遂行過程において、相反する要求事項（必要性、機能性、技術的実現性、安全性、経済性等）、それらによって及ぼされる影響の重要度を考慮し、複数の選択肢から解決策を選定できること。~~

評価

・業務遂行上の各段階における結果、最終的に得られる成果やその波及効果を評価すできること。

コミュニケーション

・業務履行上、口頭や文書等の方法の違いにかかわらず、雇用者、~~依頼者~~、上司や同僚、クライアントやユーザー等多様な関係者との間で、明確かつ効果的な意思疎通を行うことができること。

~~・所属組織の責任者として、問題を総合的に捉え、複数の選択肢から解決策を選定できること。~~

・海外における業務に携わる際は、一定水準の語学力を有することに加え、現地の社会的文化的多様性を理解し関係者との間で可能な限り協調すること。

リーダーシップ

業務遂行にあたり、明確なデザインと現場感覚を持ち、周囲の技術者を率いて、強力なリーダーシップを発揮すること。

技術者倫理

・業務遂行によつて得られる成果を通してあたり、公衆の安全、健康及び福利を最優先に考慮した上で、社会、文化及び環境に対する影響を予見し、~~公共の安全、環境の保全その他の公益を害することなく、公衆の安全、健康及び福利を最優先に考慮し、~~地球環境の保全等、次世代に渡る社会の持続性の確保に努めることができること。

・業務履行上、関係法令等の制度が求めている事項を遵守すできること。

・業務履行上行う決定に際して、自らの業務及び責任の範囲を明確にし、これらの責任を負うことができること。